

18 野鳥の森から八丁池

野鳥の声を聞きながらブナの森を散策して天城の瞳・八丁池へ

天城山自然休養林「昭和の森」は昭和天皇在位50周年を記念して、昭和53年（1978）に林野庁が国内数箇所に指定した。広く国民が豊かな自然とのふれあいや、自然に親しめるレクリエーションの森である。

広い休養林の一角落にある「野鳥の森」はブナやヒメシャラ、アセビ、カエデなどが繁る自然林。年間を通じて64種の野鳥が飛び交い、さえずっている。コルリ、オオルリ、ウゲイス、アカゲラ、アオゲラ、マミジロ、コマドリ、エナガ、ホトトギス、シジュウカラ、ヤマガラなど。

野鳥の森への起点は八丁池口のバス停。専用バスまたはタクシー以外は通行できないので、車利用の場合は水生地下か二階滝の無料駐車場に置いて専用バスで入ることになる。八丁池口行きのバスは第1便は修善寺駅から出るが2~5便は昭和の森会館から出ている。ただし、季節運行のため運行日を確認のこと。

修善寺駅（昭和の森会館）から八丁池口行きのバスで1時間13分（32分）、終点で下車。山小屋風の待合所とトイレがある。帰りのバスの時間を探しておこう。

八丁池口（見晴台）から八丁池遊歩道



▲見晴台からの八丁池 富士山も望める



▲ブナ林を歩く（佐賀野入歩道）



▲野鳥の森を歩く

右を見送ると15分ほどでコルリ歩道の入口。今までの人工林・灌木林からがらりと変わり、ブナやヒメシャラの森となる。ここからが野鳥の森。野鳥散策路全長2.5kmには、それらコルリ歩道を5分も登れば、再びぞれ名前がつけられている。林道から自信のない人は寒天林道を行ってもよい。

かに上っていく。三筋山への分岐を右見送ると15分ほどでコルリ歩道の入口。今までの人工林・灌木林からがらりと変わり、ブナやヒメシャラの森となる。ここからが野鳥の森。野鳥散策路全長2.5kmには、それらコルリ歩道を5分も登れば、再びぞれ名前がつけられている。林道から自信のない人は寒天林道を行ってもよい。

かに上っていく。三筋山への分岐を右見送ると15分ほどでコルリ歩道の入口。今までの人工林・灌木林からがらりと変わり、ブナやヒメシャラの森となる。ここからが野鳥の森。野鳥散策路全長2.5kmには、それらコルリ歩道を5分も登れば、再びぞれ名前がつけられている。林道から自信のない人は寒天林道を行ってもよい。



▲八丁池の水神さん



河津や下田方面、伊豆七島が望める。青スズ台歩道を下ればまた林道の広場に出る。広場には野鳥図版がある。灌木林に入るとすぐ左に佐賀野入歩道。青スズ台歩道を下ればまた林道の広場に出る。広場には野鳥図版がある。灌木林に入るとすぐ左に佐賀野入歩道を下り、途中からコマドリ歩道に入り、ブナ林を歩いて一旦林道に出た後、すぐ右にヒノキ林のウグイス歩道に入る。ちょっとときつい下り道なので注意して下ろう。下り切ると八丁池のバス停に出る。

バスの時間までに戻れない場合、佐賀野入歩道からコマドリ歩道に入らず、そのまま上り御幸歩道を歩いて、そのままヒノキ林のウグイス歩道に入る。林道の終点にトイレがある。ほかにトイレはないのでそのつもりでトレイを持っておこう。

トレイの前から1分足らずで見晴台。展望台に上がるところ60度の展望が得られる。目の前に広がるブナの林、その中に青く澄んだ八丁池、ブナ林の上に雪を被った富士山が望める。

八丁池はその周囲が八丁（約870m）あることからこの名がある。湖畔には昭和2年（1930）6月に昭和天皇が訪れたのを記念し

て建られた行幸記念碑がある。北側には龍がまつわりいた水神さん（弁財天）も祀られている。対岸には弁財天（線刻石仏）もある。エルの産卵地としても知られ、5月頃訪れるごとに、池に張り出した木枝に白い花が咲いたような卵塊が見られる。

帰りは前の佐賀野入歩道を下る。アセビやブナ、ヒメシャラの樹林帯を下り、途中からコマドリ歩道に入ら、ブナ林を歩いて一旦林道に出た後、すぐ右にヒノキ林のウグイス歩道に入る。ちょっとときつい下り道なので注意して下ろう。下り切ると八丁池から下り御幸歩道で水生地下に入らず、そのまま上り御幸歩道を歩いて、そのままヒノキ林のウグイス歩道に入る。天城峠（バス停）に向かう。または、八丁池口まで来てバスに間に合わなかつたら、そのままバス道を二階滝（バス停）まで歩けばよい。八丁池には休憩舎があるので売店はないので弁当・水筒は必ず持つていくといい。